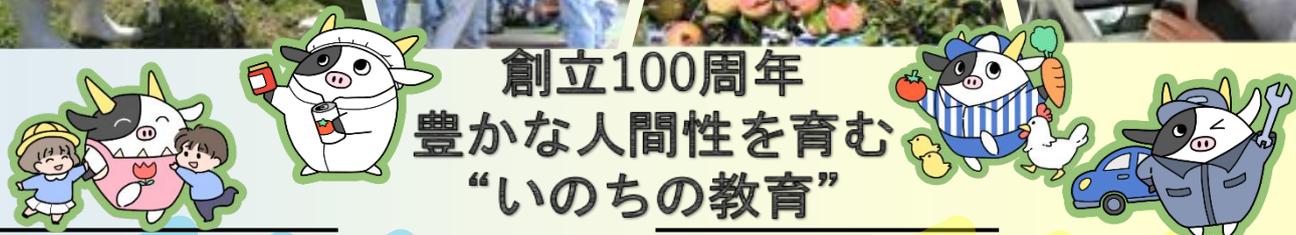


タイトル	豊かな人間性を育む“いのちの教育”
名称（学校・地域）	長野県下伊那農業高等学校
日時・場所等	通年の取り組み
ホームページアドレス	https://www.nagano-c.ed.jp/simonou/



課題研究・コース学習など 『専門的な学び』



アグリサービス科：「人形劇」
人形劇の町「飯田市」。伝統を引き継ぎながら、こどもたちに農業の大変さや、喜びを伝えました。

農業機械科：「振り子時計」
時間を正確にはかることのできる振り子時計を製作しました。



園芸クリエイト科：「花の染色」
花を自分の好みの色に染色する。さらに染色後、ドライフラワーにし、色の変化を研究しました。

園芸クリエイト科：
「イチゴの品種による味の違いと株の作り方による生育の違い」
冷涼な気候を好む夏秋イチゴ2品種が飯田市でも栽培可能か調査しました。



食品化学科：「昆虫食」
イナゴや蚕の蛹など、昆虫の栄養成分を分析し、昆虫食の普及について検討しました。

下伊那農業高校では2年次よりコースに別れ、4学科7コース 11分野で専門的な知識を身につけています。総合実習では学科の特性に合わせ、知識だけでなく専門的な技術を習得します。また3年次の「課題研究」では、自ら発見した答えのない課題を解決するべく研究に取り組んでいます。コース学習を通して、農業の未来を担う人材を育成しています。

班活動・生徒会活動など 『地域での学び』



アグリ研究班：「よこねたんぼ守り隊」
飯田市千代地区にある、棚田の原風景“よこねたんぼ”を保全するため、畔塗りのや田植え・イネ刈りなどを行っています。

アグリ研究班：「信州黄金シャモの普及」
長野県のブランド地鶏である“信州黄金シャモ”を普及するため、飼育から販路確保まで、さまざまな活動を行っています。



農業機械班：「ドローンを用いた農業」
現在注目されているスマート農業を本校でも取り入れるべく、ドローンを用いて圃場の撮影を行います。

果樹班：「果樹振興の研究」
飯田下伊那地域では果樹栽培が盛んです。“シャインマスカット”をMA包装し、氷温貯蔵を行い品質の研究をしています。



食品科学班：「稲丘茶の利用・普及」
県内で唯一、茶の栽培ができる本校で茶を栽培し、煎茶・紅茶・ほうじ茶に加工しています。加工した茶は粉末にするなどし、普及活動を行っています。

南信州全域を学びのフィールドとし、専門家からの指導や地域の関係機関と協働した学習を行っています。南信州の抱える問題を解決するため、グローバルな視野で考え、ローカルな活躍を目指し日々研究活動に取り組んでいます。メディアにも多く取り上げられているこの学びを通して地域で活躍する人材を育成します。